

# 社長 第349回 INTERVIEW

空をも凌ぐ高みを目指して

りょうしやう  
(株)凌霄

## — 佐々木勇輔社長に聞く



佐々木勇輔社長

今回は札幌市に本社を置き、幅広く建設業務に携わる(株)凌霄の佐々木勇輔社長にお目にかかった。まだ設立されてから若い企業であるものの、同社では佐々木社長のもと社員が一致団結して日々の仕事に取り組んでいる。

これまでの経緯と社員を何よりも大切にしている佐々木社長の経営姿勢など幅広いお話をお聞きした。

(聞き手：札幌支店情報部 柳澤康行)

### — 会社設立の経緯についてお伺いいたします

当社の設立は、2012年(平成24年)1月のことで今年10年目を迎えました。現在、特定建設業の許可を得て、建築・土木工事を始めとして、構造物取り壊し工事、研掃工事、各種コア・アンカー工事、内装仕上げ工事、各種金物取付・鍛冶工事など建設業全般にわたっての幅広い業務を請け負っています。

もともと私は知人の紹介で、斫(はつり)・解体工事を行う業者のもとで働いていたことがあります。その会社は社長も入れて3名ほどの小規模な業者でしたが、ひたすら現場での業務に向き合い、仕事を体得したことが今日に繋がっていると思います。

斫・解体工事というのは文字通り、現場で建物の取り壊し、解体を行うことが主な仕事ですが、建物解体後は更地になった土地の土壌を排出します。大抵の場合、施主の方はそこに新たな建築物を建てることをご希望されていますから、解体だけで工事は完結する訳ではありません。整地した場所に新たに鉄筋の型枠を組みコンクリートを流し込み、基礎を作るなど新たな作業が待ち受けています。

私は、斫・解体工事だけに従事しているだけでは施主の方のニーズにトータルで応えていくことができないと肌で感じ、現場でさまざまな作業を体得することが第一だと思い、鉄筋型枠などの仕

事にも取り組んでいきました。これが施主の方には大変感謝されたことから、さらに満足度を高める仕事の領域を拡げていくことを意識するようになりました。

### — 社名の由来についてご教示ください

(株)凌霄という商号ですが、一般的には馴染みの薄い聞き慣れない名前かと思います。これは、中国原産の花である凌霄花(のうぜんかずら)に由来をしています。

実は私、中国古代の英雄列伝ともいえる「三国志」のファンで、物心ついた頃から読み漁っていました。そこで描かれているリーダーのなかでも特に劉備に憧れ、自分も経営を志す以上、この劉備のように人を魅了する大きな器の人間になりたいと常々思っていました。孫子の兵法など三国志から教えることは数多く、実際、経営のさまざまな局面において役立っています。

凌霄花はその三国志の展開場面において、どこまでも高みを目指す、生命力溢れる花として描かれていることから印象に残っていました。会社経営も空をも凌ぐ高みを目指していきたいという思いから社名として採用することとした次第です。

### — 会社経営に際して留意されていることをお聞かせください

徹底した顧客目線に立ち、変化する環境、多様化するニーズをビジネスチャンスとして捉えるということをたえず念頭においています。現場工事での需要は多岐にわたります。ひとつの受注を完遂するためには幅広い対応能力が求められ、それらに対応していくことこそが取引先の満足度をいっそう上げることに繋がると感じています。

顧客満足ということに関連して、一昨年、旭川に本社を置く警備業者、(株)プロテクト・ガードと業務提携を結びました。同社は、警備業のなかでも交通誘導・雑踏警備といった2号業務に特化した警備業者です。建設工事の現場においては、ご



昨年末に本社を移転



見通しのいい本社フロア

承知のようにこのような警備業のスタッフの存在が不可欠です。当社の得意先でもある元請け業者の方が警備スタッフ確保に苦慮される様子を見るにつけ、それならばということで決断をしたものです。

これからの業務展開に際しても同社と二人三脚で携わっていきたくと考えております。

### — 経営理念についてお伺いいたします

「仲間と共に技術と知識を磨き、安全を追求し、会社を発展させます。働きがいのある職場を作り、従業員とその家族に幸福をもたらすと同時に、社会に貢献する集団を目指します」を経営理念として掲げています。

長らく現場に携わって痛感するのはひとつの仕事を成し遂げるに際しては社員皆の協力が不可欠ということです。自分ひとりでは限られています。だからこそ社員を大切にしていきたいと思うのです。おかげさまで当社は30名を超えるまでになりましたが、建築士や建築・土木施工管理技士など様々な有資格者もおり、皆で切磋琢磨してアイデアを出し合いながら仕事をしています。

### — 福利・厚生面の充実も図られています

昨年末に本社移転を致しました。現場工事の請負業者の拠点が中心部から離れた場所に多いなか、敢えて中心部にも近く公共交通の利便性の高い場所に本社を定めました。当社では内勤部門と現場の工事部門との間で勤務場所を敢えて隔てることはせず、皆がひとつの建物のなかで一緒に仕事ができるよう配慮をしています。大切なのは、常にみんなの顔が見えるということではないかと思っています。事務所は陽当たりが良く、見通しがよく配置計画としました。また、リラクゼーションコーナーを設置するなどオフィス環境の整備にも努めています。

いま、働き方改革に注目が集まっていますが、社員のモチベーションアップを図り長く仕事をし

ていただくためにも、このほか福利・厚生面の充実にも力を入れています。社員が加入する生命保険・医療保険のほかに学資保険の掛け金などを会社で負担をしています。また、実績に応じたボーナス支給を行っているほか、付与された有給休暇の取得率も97%と高いものがあります。このほか社員寮も保有していて、今後も増やしていく予定です。工事の現場スタッフの給与に関しても、月あたり最低20日間は保証するなど雇用条件の改善により魅力ある職場づくりを行っています。

20代、30代の方たちに対しては、建設業の門戸を気軽にたたいて入ってこられるよう、魅力ある会社づくりに努めていきたい。今後、私の母校に向けての企業PRや求人活動を通じて、仕事への取り組みなどを伝えていければと思っています。

### — 本日はありがとうございました

#### 会社概要

■(株)凌霄  
 企業コード：046004709  
 本社：札幌市白石区中央2条3-6-24  
 電話：011-826-3732  
<https://ryosho.co.jp>  
 <凌霄グループ、警備業>  
 ■(株)プロテクト・ガード  
 企業コード：177013690  
 本社：旭川市豊岡12条2-3-19  
 NFビル1階B号室  
 電話：0166-32-6689  
 札幌支店：札幌市白石区中央2条3-6-24  
 電話：011-876-0921  
<https://protectguard.co.jp>